

氏名	徳 毛 敬 三
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3289号
学位授与の日付	平成10年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	第1編： CD44 exon v6 is not implicated in the progression and metastasis of endometrial cancer. (CD44v6の発現は子宮内膜癌の進展、転移に関与しない) 第2編： CD44 Exon v6 Correlates with Cellular Differentiation but not with progression and Metastasis of cervical Cancer (CD44v6の発現は子宮頸癌の細胞分化に関与するが進展、転移に関与しない)
論文審査委員	教授 難波 正義 教授 清水 憲二 教授 赤木 忠厚

学位論文内容の要旨

子宮癌におけるCD44v6の発現とその意義を検討することを目的に本研究を行った。対象は、子宮頸癌80症例および子宮内膜癌42症例である。手術摘出組織あるいは生検組織を材料とし、Total RNAを抽出後RT-PCRを行った。その後PCR productに対しCD44の共通領域を認識するprobeおよびv6に特異的にhybridizeするprobeを用いSouthern Blot Hybridizationを行った。子宮内膜癌においては、v6の発現と臨床病理学的因子との間に有意な関連性を認めなかった。子宮頸癌においては、v6とv6 long formの発現は、非扁平上皮癌に比し扁平上皮癌で有意に高かった。また、v6のlong formの発現は高分化、中分化型で低分化型に比し有意に高かった。他の臨床病理学的因子との間に有意な関連性を認めなかった。原発巣および転移巣より組織が得られた症例の検討で、転移巣でのv6の発現が消失している症例があった。以上より、CD44v6の発現そのものは、子宮癌の進展、転移に関与していないことが示唆された。

論文審査結果の要旨

子宮癌におけるCD44v6の発現とその意義を検討することを目的に本研究を行った。対象は、子宮頸癌80症例および子宮内膜癌42症例である。手術摘出組織あるいは生検組織を材料とし、Total RNAを抽出後RT-PCRを行った。その後PCR productに対しCD44の共通領域を認識するprobeおよびv6に特異的にhybridizeするprobeを用いSouthern Blot Hybridizationを行った。子宮内膜癌においては、v6の発現と臨床病理学的因子との間に有意な関連性を認めなかった。子宮頸癌においては、v6とv6 long formの発現は、非扁平上皮癌に比し扁平上皮癌で有意に高かった。また、v6のlong formの発現は高分化、中分化型で低分化型に比し有意に高かった。他の臨床病理学的因子との間に有意な関連性を認めなかった。原発巣および転移巣より組織が得られた症例の検討で、転移巣でのv6の発現が消失している症例があった。以上より、CD44v6の発現そのものは、子宮癌の進展、転移に関与していないことが示唆された。

以上の研究はCD44V6と子宮癌及び子宮内膜癌の関係を明らかにしたもので、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。